

# 兵庫県 の ハ ム シ (Ⅲ) \*

高 橋 寿 郎

## Chrysomelid-Beetles (Coleoptera) from Hyōgō-Prefecture (Ⅲ)

by Toshio Takahashi

Subfamily Chrysomelinae Lacordaire

ハムシ亜科

Genus *Chrysolina* Motschulsky

ヨモギハムシ属

日本産本属は8種産することが知られており、兵庫県からは3種記録されている。

73. *Chrysolina aurichalcea* (Mannerheim)

ヨモギハムシ

A—p.1198, f.3445. B—pl.19, f.384, 385, p.64.  
C—pl.166, f.8 a, b, p.331.

普通種、黄銅色のab. *kiotensis* Bechynéも産す。  
産地；西宮市香栞園、神戸市御影〔関, 1933〕, 六甲山、布引、鳥原、山の街、箕谷、東垂水〔木元, 日浦, 1964〕, 氷上郡〔山本, 1953, 1958〕, 出石郡出石町〔高橋, 1963〕, 養父郡氷の山〔中根, 1953〕

74. *Chrysolina exanthematica* (Wiedemann)

ハツカハムシ

A—p.1198, f.3446. B—pl.19, f.383, p.64.  
C—pl.166, f.10, p.331.

県下では個体数少ない。  
産地；神戸市御影〔関, 1933〕, 三田市 (1ex., 21—K—1941), 氷上郡神楽村、柏原〔山本, 1953, 1958〕  
出石郡出石町〔高橋, 1963〕

75. *Chrysolina nikkoensis* (Jacoby) ヨメナハムシ

C—pl.166, f.5, p.331.

筆者県下未採集、稀な種と思われる、ヨメナを食するとのこと。

産地；氷上郡黒井町〔V—1952, 山本, 1953, 1958〕

Genus *Chrysomela* Linné ハムシ属

日本産本属は4種知られているが県下産は2種のみで共に *Chrysomela* 亜属に属する。

76. *Chrysomela* (s. str.) *populi* Linné ドロノキハムシ

A—p.1200, f.3450. B—pl.19, f.382, p.64.  
C—pl.166, f.13, p.332.

普通種、食草としてハコヤナギの類(ドロノキ、ヤマナラシ)およびヤナギの類が知られている。本種の生活

史は井上(林業害虫防除論, 1953), 木元(Sci. Bull. Fac. Agr. Kyushu Univ., X M, I, 1957)に記されている。

産地；川西市多田、神戸市御影〔関, 1933〕, 鳥原、山の街、氷上郡〔山本, 1953, 1958〕, 出石郡出石町〔高橋, 1963〕, 養父郡氷の山、建屋〔村山, 1953〕, 宍粟郡船越山〔木元, 日浦, 1964〕

77. *Chrysomela* (s. str.) *vigintipunctata* (Scopoli)

ヤナギハムシ

A—p.1199, f.3449. B—pl.19, f.386, p.64.  
C—pl.166, f.15, p.332.

ヤナギの害虫として知られ普通に産する。本種の生活史は木元博士の報文がある(九州大学農学部学芸雑誌, X M, 1957)。

産地；神戸市御影〔関, 1933〕, 鳥原、丹生山、広野、淡路〔堀田, 1959〕, 氷上郡〔山本, 1953, 1958〕, 養父郡氷の山〔奥谷, 1955〕

Genus *Gastrolina* Baly

ヒラタハムシ属

本属の日本産は2種知られているが兵庫県には1種を産するのみである。

78. *Gastrolina depressa* Baly クルミヒラタハムシ

A—p.1200, f.3451. B—pl.19, f.398, p.65.  
C—pl.166, f.18, p.332.

個体数は多くない。食草としてオニグルミ、サワグルミが知られている。

産地；神戸市丹生山 (3exs., 5—V—1966), 谷上 (4exs., 18—V—1958), 氷上郡神楽村〔山本, 1953, 1958〕, 赤穂郡三濃山〔2exs., 7—V—1964, 大野 1967〕, 養父郡氷の山 (1ex., 27—VII—1957)

Genus *Gastrolinoides* Chūjō et Kimoto

ヒラタハムシモドキ属

日本産は1種のみである。

79. *Gastrolinoides japonica* (Hlarold) シデハムシ

B—pl.19, f.399, p.65. C—pl.166, f.18, p.332.

本種は従来 *Gastrolina* 属あるいは時に *Chrysomela* 属として取扱われてきたが両属と全く異なり新属として中条；木元両博士が1960年上記の如く分離された (Nipon

ius, I, 4, p.7, 1960)

兵庫県からは新記録で、1967年神戸生物クラブの採集会(六甲山~紅葉谷~有馬, 6月18日)の際、紅葉谷で2exs. 採集することが出来た。食草としてイヌシデ、トサミズキが知られている。

産地; 神戸市六甲山紅葉谷 (2exs., 18-V-1967)

Genus *Gastrophysa* Chevrolat

コガタルリハムシ属

本属の日本産は1種のみであり兵庫県にも産する。

80. *Gastrophysa atrocyanea* Motschulsky

コガタルリハムシ

B-pl.19, f.450, p.70. C-pl.166, f.3, p.330.

個体数はやや多いようである。本種の生活史は大野氏の詳しい報文がある(生態昆虫, V, 3, pp.147~157, 1956)。食草もミチヤナギ, ハルタデ, スイバ, アレチギンギン, ギンギン, ノダイオウ, マダイオウ, ウシハコベなど多く知られている。

産地; 芦屋 (5exs., 16-III-1958), 神戸市多井畑 (1ex., 2-VIII-1941), 養父郡氷の山 (1ex., 24-VII-1955, 16exs., 27-VII-1957)

Genus *Gonioctena* Chevrolat クロモンハムシ属

本属の日本産は3亜属, 11種知られているが兵庫県には3亜属, 4種を産する。

81. *Gonioctena* (*Brachyphytodecta*) *rubripennis*

Baly フジハムシ

A-p.1201, f.3454. B-pl.19, f.400, p.60.

C-pl.167, f.1a, b. p.333.

普通種, 食草はフジ, ハリエンジュ, ニセアカシヤ, ノダフジなど。

産地; 武田尾 [木元, 日浦, 1964], 神戸市六甲山, 鳥原, 山の街, 谷上, 広野, 津名郡開鏡, 氷上郡柏原, 赤穂郡三濃山 [大野, 1967], 養父郡氷の山。

82. *Gonioctena* (s. str.) *japonica* Chūjō et Kimoto

トホシハムシ

A-p.1200, f.3452. C-pl.167, f.7, p.333.

稀な種である。ハンノキ, ヤマハンノキ, クマシデが食草として知られている。

産地; 神戸市御影 [関, 1933], 養父郡氷の山 (1ex., 24-VII-1955)

83. *Gonioctena* (s. str.) *takahashii* Kimoto

ヒメトホシハムシ

C-pl.167, f.3, p.333.

本種も稀な種である。

産地; 養父郡氷の山 (1ex., 24-VII-1955)

84. *Gonioctena* (*Sinomela*) *nigroplagiatus* Baly

ヤツボシハムシ

C-pl.166, f.21, p.332.

本種は Jacoby により *Phytodecta ruboustus* なる新種として発表された兵庫県産 (Zool. Soc. London, p.209, 1885) の記録があるのみでそれ以後県下からの記録はなく筆者も未採集である。

産地; Hiogo [Jacoby, 1885]

Genus *Linnaeidea* Motschulsky ルリハムシ属

本属の日本産は1種2亜種が知られている。

85. *Linnaeidea aenea aenea* (Linne) ルリハムシ

A-p.1199, f.3448. B-pl.19, f.396, 397, p.65.

C-pl.166, f.16, p.332.

色彩によって変種が記録されている, すなわち明るい青色あるいは暗緑色, 紫黒色のものを var. *violacea* Olivier, 赤紫色乃至は暗紫色あるいは紫黒色のものを var. *haemorrhoidalis* Linné あるいは黄銅光沢が非常に強くなって金黄色に見えるものを var. *vittelinea* Scopoli, しかし, かかる色彩変化は決して孤立しているものではなくたくさんの個体数を集めるとそれぞれ間に連続変化が認められるので, いたずらに色彩型名を付けることは却って煩わしさを増すことになる。亜種は次のように分けられる。前胸, 肢がまったく橙黄色のもの subsp. *insularis* Chūjō, 肢が黄褐色のもの subsp. *tsutsuii* Nakane, 前者の方は本州からの記録がなかったのであるが, 藤田悦久氏は神戸六甲山紅葉谷で多数採集飼育をされその生活史を発表しておられる(兵庫生物 N, 3/4, pp.143-145, 1962), もっとも筆者の同じ場所での採集は全部原亜種であった。食草としてヒメヤシヤブシ, ケヤマハンノキ, クマシデなどが知られている。個体数は割合多いようである。

産地; 神戸市六甲山 [藤田, 1962] (5exs., 18-VI-1967), 植物園 (2exs., 9-VII-1961), 氷上郡 [山本, 1958], 養父郡氷の山 (19exs., 24-VII-1955, 22exs., 27-VII-1956)

Genus *Phaedon* Latreille ダイコンハムシ属

86. *Phaedon brassicae* Baly ダイコンハムシ

A-p.1199, f.3447. C-pl.166, f.2, p.331.

普通種。食草も多く知られている。

産地; 宝塚市武田尾, 神戸市六甲山, 二十渉, 鳥原, 山の街, 三田市, 氷上郡 [山本, 1958], 出石郡出石町 [高橋, 1963], 養父郡氷の山。

Genus *Plagioderia* Chevrolat ヤナギハムシ属

87. *Plagioderia versicolora distincta* Baly

ヤナギルリハムシ

B-pl.19, f.406, p.66. C-pl.166, f.1, p.331.

本種も普通に産する。

産地; 宝塚市武田尾, 神戸市六甲山, 摩耶山, 鳥原, 出石郡出石町 [高橋, 1963], 赤穂郡三濃山 [大野, (以下 P.36へ)]

(以下 P.38から)

1967], 養父郡氷の山。

Subfamily Synetinae Edwards ホソハムシ亜科

本亜科には現在日本には1属、2種しか知られていない。この種は従来 Orsodacinae 亜科に属せしめられていたが、中条博士の研究(1959)により独立の科として取扱うのが適当であるとされその位置は Chrysomelinae 亜科と Galerucinae 亜科の間にあるとするのが現在とられている。

本亜科に属する *Syneta* 属は世界から10種知られており全部旧北区に分布する。兵庫県産は1種のみ。

Genus *Syneta* Dejean

ホソハムシ属

88. *Syneta adamsi* Baly

カバノキハムシ

A—p.1188, f.3414. C—pl.167, f.12, 13, p.333.

本種は5月はじめ谷上には多く産する。食草にはトチノキ、コナラ、ナラ、ハハソ、カンバの類、シデの類、ブナの類などが知られている。

産地；神戸市谷上(14♂♂, 5♀♀, 7—V—1961), 氷上郡柏原(1♂, 1♀, 10—V—1953), 神楽村, 多紀郡小金岳〔山本, 1953, 1958〕, 養父郡氷の山(1ex., VII—1955) (11—V—1968)